

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年6月24日 (2010.6.24)

【公開番号】特開2008-283572(P2008-283572A)

【公開日】平成20年11月20日 (2008.11.20)

【年通号数】公開・登録公報2008-046

【出願番号】特願2007-127274(P2007-127274)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 A

G 0 6 T 1/00 3 4 0 A

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月28日 (2010.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

顔画像と前記顔画像に対して指定された点数とを対応付けて格納した格納部と、
被写体を撮像して顔を含む画像を得る撮像部と、
撮影前に、前記撮像部を連続動作させて得られる画像の顔画像に対応する点数を前記格納部から抽出し、該点数に基づいて前記撮像部を動作させている間の前記顔の表情のレベルを提供する情報提供部と、
を具備することを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記撮像部で得られた画像を表示する表示部をさらに具備し、
前記情報提供部は、前記表示部に表示されている画像上に前記顔の表情のレベルを重ね表示させることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記点数を、複数の前記顔画像の表情に従って、手動で指定するための指定部をさらに具備することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記指定された以外の点数を補間演算によって演算する表情演算部をさらに具備することを特徴とする請求項 3 に記載の撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記の目的を達成するために、本発明の第 1 の態様の撮像装置は、顔画像と前記顔画像に対して指定された点数とを対応付けて格納した格納部と、被写体を撮像して顔を含む画像を得る撮像部と、撮影前に、前記撮像部を連続動作させて得られる画像の顔画像に対応する点数を前記格納部から抽出し、該点数に基づいて前記撮像部を動作させている間の前記顔の表情のレベルを提供する情報提供部とを具備することを特徴とする。